

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年1月30日

上場会社名 株式会社 イージーユーズ
 コード番号 2495 URL <http://www.ezuz.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月6日

上場取引所 札

(氏名) 西澤 岳志
 (氏名) 岩崎 秀樹

TEL 03-6674-1365

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	253	—	△70	—	△68	—	△77	—
20年3月期第3四半期	315	△29.8	△102	—	△124	—	△351	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△7,925.29	—
20年3月期第3四半期	△49,967.62	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	475	417	417	417	87.9	42,670.72
20年3月期	590	498	498	498	84.3	50,892.87

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 417百万円 20年3月期 498百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	387	△8.7	△40	—	△40	—	△40	—	△4,113.45

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 9,788株 20年3月期 9,788株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 一株 20年3月期 一株
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 9,788株 20年3月期第3四半期 7,038株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご参照ください。
 2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、原油・原材料価格の高騰及びサブプライム・ローン問題を背景とした世界的な景気減速のなか先行きの不透明感を抱えながら推移いたしました。インターネット広告分野におきましては、利用者数の拡大およびモバイル化の進展により、拡大基調は続いており、サービスの多様化や顧客ニーズの変化が激化しております。

このような状況下で当社はインターネットビジネスを加速させ、さらなる規模拡大を目指して積極的な事業展開をはかりました。メディア事業につきましては、上半期での金融市場の混乱に起因する金融商品リテール分野の成果報酬型広告の落ち込みを挽回すべく、インターネット回線契約の取次事業を積極的に推進し、当社の新しい事業の柱となる規模へ拡大させることができました。しかし拡大のための投資が先行し、利益に貢献するまでは至りませんでした。ソリューション事業につきましては、大口顧客への受注活動を積極的に展開し、上半期は概ね計画に近い数値であったものの、当第3四半期では納品案件が少なく売上高、利益ともに低調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高253,392千円、営業損失70,460千円、経常損失68,072千円となりました。四半期純損失につきましては、保有している投資有価証券の評価損を計上した結果、77,572千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

当第3四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状態は以下のとおりです。

①資産

当第3四半期会計期間末における流動資産は323,099千円（前事業年度末は448,430千円）となり、125,330千円減少しました。これは主として現金及び預金の減少、有価証券の減少によるものであります。固定資産は151,994千円（前事業年度末は142,238千円）となり、9,756千円増加しました。これは主としてソフトウェアの増加によるものであります。この結果、資産合計は475,094千円（前事業年度末は590,668千円）となり、115,573千円減少しました。

②負債

当第3四半期会計期間末における流動負債は43,739千円（前事業年度末は74,626千円）となり、30,887千円減少しました。これは主として短期借入金の減少によるものであります。固定負債は13,694千円（前事業年度末は17,902千円）となり、4,208千円減少しました。これは長期借入金の減少によるものであります。この結果、負債合計は57,433千円（前事業年度末は92,528千円）となり、35,095千円減少しました。

③純資産

当第3四半期会計期間末における純資産は417,661千円（前事業年度末は498,139千円）となり、80,478千円減少しました。これは、主として利益剰余金の減少によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ163,196千円減少し、155,571千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,109千円の現金及び現金同等物の増加となりました。これは主として、売上債権の減少によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、135,097千円の現金及び現金同等物の減少となりました。これは主として、貸付けによる支出によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、29,208千円の現金及び現金同等物の減少となりました。これは主として短期借入金の返済によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年10月29日に発表いたしました平成21年3月期通期業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響額ははありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,764	209,794
受取手形及び売掛金	46,911	110,421
有価証券	54,808	109,974
仕掛品	2,117	382
貯蔵品	93	110
短期貸付金	100,000	—
その他	17,834	19,087
貸倒引当金	△430	△1,340
流動資産合計	323,099	448,430
固定資産		
有形固定資産	2,934	6,137
無形固定資産		
ソフトウェア	113,620	84,260
その他	72	72
無形固定資産合計	113,692	84,332
投資その他の資産		
その他	40,187	55,071
貸倒引当金	△4,819	△3,303
投資その他の資産合計	35,367	51,768
固定資産合計	151,994	142,238
資産合計	475,094	590,668
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,361	19,138
短期借入金	—	25,000
1年内返済予定の長期借入金	6,312	6,312
未払法人税等	644	1,040
本社移転損失引当金	—	4,248
その他	27,421	18,887
流動負債合計	43,739	74,626
固定負債		
長期借入金	13,694	17,902
固定負債合計	13,694	17,902
負債合計	57,433	92,528

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	541,390	541,390
資本剰余金	319,750	319,750
利益剰余金	△432,150	△354,577
株主資本合計	428,989	506,562
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,328	△8,422
評価・換算差額等合計	△11,328	△8,422
純資産合計	417,661	498,139
負債純資産合計	475,094	590,668

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	253,392
売上原価	212,457
売上総利益	40,934
販売費及び一般管理費	111,394
営業損失(△)	△70,460
営業外収益	
受取利息	2,093
受取配当金	128
投資有価証券売却益	166
保険解約返戻金	1,618
受取保険金	944
その他	677
営業外収益合計	5,627
営業外費用	
支払利息	533
投資有価証券売却損	1,863
本社移転費用	842
その他	1
営業外費用合計	3,239
経常損失(△)	△68,072
特別損失	
固定資産売却損	117
投資有価証券評価損	9,434
特別損失合計	9,552
税引前四半期純損失(△)	△77,624
法人税、住民税及び事業税	217
過年度法人税等	△269
法人税等合計	△51
四半期純損失(△)	△77,572

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	63,309
売上原価	67,457
売上総損失(△)	△4,148
販売費及び一般管理費	35,042
営業損失(△)	△39,190
営業外収益	
受取利息	689
受取配当金	30
保険解約返戻金	1,618
その他	211
営業外収益合計	2,549
営業外費用	
支払利息	121
営業外費用合計	121
経常損失(△)	△36,761
特別利益	
貸倒引当金戻入額	588
特別利益合計	588
特別損失	
投資有価証券評価損	9,434
特別損失合計	9,434
税引前四半期純損失(△)	△45,607
法人税、住民税及び事業税	72
四半期純損失(△)	△45,680

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△77,624
減価償却費	11,798
貸倒引当金の増減額(△は減少)	606
本社移転損失引当金の増加額	△4,248
受取利息及び受取配当金	△2,222
支払利息	533
有形固定資産売却損益(△は益)	117
投資有価証券評価損	9,434
投資有価証券売却益	△166
投資有価証券売却損	1,863
売上債権の増減額(△は増加)	63,509
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,718
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,776
その他	6,636
小計	△1,255
利息及び配当金の受取額	2,824
利息の支払額	△438
法人税等の還付額	269
法人税等の支払額	△290
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,109
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△580
無形固定資産の取得による支出	△37,151
敷金及び保証金の差入による支出	△211
敷金及び保証金の回収による収入	11,309
投資有価証券の取得による支出	△25,600
投資有価証券の売却による収入	15,220
貸付けによる支出	△100,000
その他	1,914
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,097
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△25,000
長期借入金の返済による支出	△4,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,208
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△163,196
現金及び現金同等物の期首残高	318,767
現金及び現金同等物の四半期末残高	155,571

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前年同四半期にかかる財務諸表

四半期損益計算書

区分	前第3四半期会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	315,577	100.0
II 売上原価	253,010	80.2
売上総利益	62,566	19.8
III 販売費及び 一般管理費	165,177	52.3
営業損失	102,610	△32.5
IV 営業外収益	7,553	2.4
V 営業外費用	29,477	9.3
経常損失	124,534	△39.5
VI 特別損失	203,730	64.6
税引前四半期純損失	328,264	△104.0
法人税、住民税 及び事業税	217	
法人税等調整額	23,199	23,416
四半期純損失		351,681
		△111.4